

令和 3 年 6 月 17 日現在

機関番号：37112

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2018～2020

課題番号：18K01869

研究課題名(和文) 研究開発人材の政治スキルとイノベーションとの関係に関する研究

研究課題名(英文) Study on the relationship of R&D personnel's political skills and innovation

研究代表者

尹 諒重 (YUN, YANGJOONG)

福岡工業大学・社会環境学部・教授

研究者番号：50585213

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,400,000円

研究成果の概要(和文)：組織の創造性とイノベーションにおいて研究開発人材が果たす重要な役割を考えると、彼らの長期的なパフォーマンスとキャリア成功の決定要因を理解することは重要な研究テーマである。この研究はイノベーションプロセスを社会政治的視点からとらえ、研究開発人材の政治スキルの役割と影響力に焦点を当てる。特に政治スキルの職務資源の獲得、およびキャリア成功との関係を調査した。この研究では、韓国の262人のR&D担当者からの調査データを分析した。分析結果、政治スキルのキャリア成功に対する直接効果と、職務資源の獲得に媒介された間接効果の統計的有意性が確認できた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

先行研究で個人の政治スキルがキャリア成功の認識に影響を与えるという部分は述べられていたが、政治スキルがキャリアの成功に結びつくプロセスに関する研究は少なかった。研究を通じて、研究開発人材の政治スキルが職務資源の獲得を通じてキャリア成功に結びつくというプロセスを明らかにした点が学術的成果と言える。なお、以前は政治スキルが職務資源の獲得に影響を与えることが確認されたことから、組織におけるイノベーションの創出に対し政治スキルのポジティブな側面を確認できた点も本研究の意義と考える。

研究成果の概要(英文)：Given the substantial role played by R&D personnel in organizational creativity and innovation, understanding the determinants of their long-term performance and career success is an important research theme. Based on the socio-political perspective of the innovation process, this study focuses on the role and influence of R&D personnel's political skills, and investigates the relationship between political skills, job resources, and career successes. By analyzing the survey data from 262 R&D personnel in South Korea, this study examines political skill's direct and positive effect on career success and the mediating effect job resources between two variables.

研究分野：経営学

キーワード：政治スキル 研究開発人材 イノベーション キャリア成功

様式 C-19、F-19-1、Z-19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

(1) 組織内政治は、暗闘、派閥といった否定的なイメージで捉えられることが多い。否定的イメージゆえのことかは定かではないが、日本では政治スキルについてあまり研究がなされていない。とはいえ、組織における政治的行動は一般的なものであり、組織という場は政治を内包した空間である。たとえば、イノベーションの源泉を論じる際に研究開発人材のネットワークが重要である。

(2) 先行研究は複雑なイノベーションプロセスにおける対人関係能力についてあまり焦点を当てなかった。本研究では政治スキル (political skill) の因果関係における役割に注目する。説明変数としての役割に焦点を当て、結果変数に対する直接効果と媒介変数を想定した間接効果を分析する。

2. 研究の目的

(1) 政治スキルのサブ構成概念、社会的鋭敏性、ネットワークキング能力、対人影響力、仮現誠実性の結果変数との関係性を明らかにする。

(2) 研究開発人材の政治スキルが職務に必要な資源獲得に与える影響を明らかにする。

(3) 研究開発人材の政治スキルがキャリア成功に与える直接効果と、資源獲得を通じて現れる間接効果を明らかにする。

3. 研究の方法

(1) 研究モデルを経験的に調べるために、この研究では韓国の研究開発組織の従業員から回答を得た 262 サンプルに対して調査を実施した。上記の研究目的で示した仮説をテストするために、この研究は偏最小 2 乗構造方程式モデリング (PLS-SEM) を採用した。

(2) 変数構成は、「政治スキル」の下位構成概念(社会的鋭敏性、 ネットワークキング能力、 対人影響力、 仮現誠実性)を使い、変数政治スキルの複合 2 次変数を構築した。「組織資源」は社会的資源と組織的資源の設問を利用し構成した。社会的資源とは同僚や上司からのサポートであり、組織的資源とは承認、フィードバックなどである。「キャリア成功」は、個人の認識に基づいた評価を利用した。自分のキャリア(職位、給与、能力など)に対する満足度合に関する設問を利用し構成した。

4. 研究成果

(1) R&D 担当者の政治スキルはキャリアの成功に対し、プラスの効果があると予測された。分析の結果、仮説は証明された ($\beta = .383$, $p < .001$, $R^2 = .160$)。

(2) この研究は、政治スキルが職務資源の獲得を促し、キャリア成功に至る仲介モデルを提案した。第一段階として、政治スキルの資源獲得に対する影響が統計的に有意だった ($\beta = .468$, $p < .001$, $R^2 = .224$)。

(3) 仲介モデルの第 2 段階として、職務資源の獲得がキャリア成功の認識に与える影響を検討し、有意な結果を確認した ($\beta = .692$, $p < .001$, $R^2 = .531$)。なお、仲介モデルの媒介効果 ($\beta = .324$) 有意性を確認すべく、Sobel の z スコアを確認したが、有意性を示した。

【1 研究目的、研究方法など(つづき)】

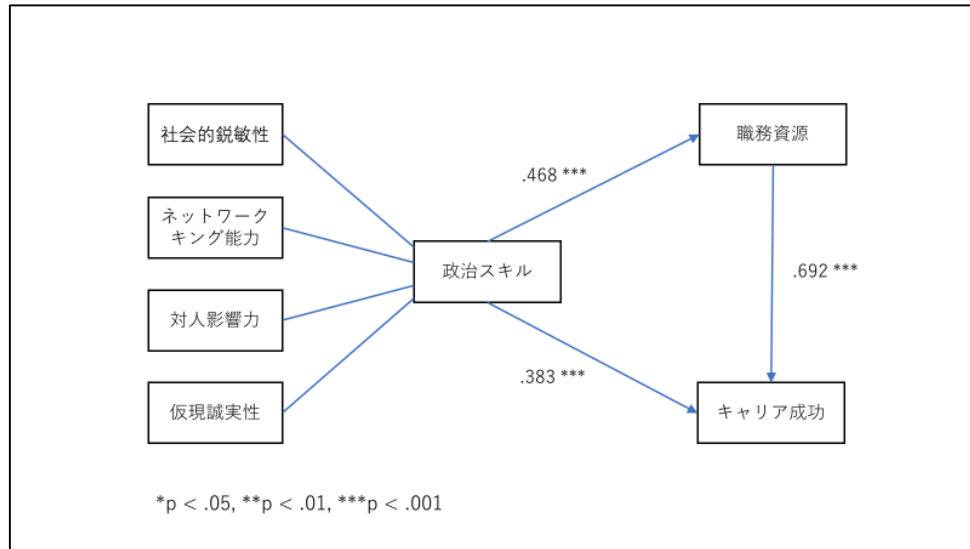


図1 分析結果

<引用文献>

Ahearn KK, GR Ferris, WA Hochwarter, C Douglas and AP Ammeter (2004) Leader political skill and team performance. *Journal of Management* 30(3), 309-327.

Amabile TM (1988) A model of creativity and innovation in organizations, *Research in Organizational Behavior* 10(1), 123-167.

Amabile TM and MG Pratt (2016) The dynamic componential model of creativity and innovation in organizations: Making progress, making meaning. *Research in Organizational Behavior* 36, 157-183.

Anderson N, K Potočnik and J Zhou (2014) Innovation and creativity in organizations a state of-the-science review, prospective commentary, and guiding framework, *Journal of Management* 40(5), 1297-1333.

Bakker AB and E Demerouti (2007) The job demands resources model: State of the art. *Journal of Managerial Psychology* 22(3), 309-328.

Becker JM, K Klein and M Wetzels (2012) Hierarchical latent variable models in PLS-SEM: guidelines for using reflective-formative type models. *Long Range Planning* 45(5-6), 359-394.

Blickle G, K Oerder and JK Summers (2010) The impact of political skill on career success of employees' representatives. *Journal of Vocational Behavior* 77(3), 383-390.

Cabello-Medina C, Á López-Cabrales and R Valle-Cabrera (2011) Leveraging the innovative performance of human capital through HRM and social capital in Spanish firms. *The International Journal of Human Resource Management*, 22(04), 807-828.

Chang HT, HM Hsu, JW Liou and CT Tsai (2013) Psychological contracts and innovative behavior: a moderated path analysis of work engagement and job resources. *Journal of Applied Social Psychology* 43(10), 2120-2135.

Dediu V, S Leka and A Jain (2018) Job demands, job resources and innovative work behaviour: a European Union study. *European Journal of Work and Organizational Psychology*, 27(3), 310-323.

Williamson, J. M., Lounsbury, J. W., and Han, L. D. (2013), "Key personality traits of engineers for innovation and technology development", *Journal of Engineering and Technology Management*, Vol 30 No 2, pp. 157-168.

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計2件（うち査読付論文 2件/うち国際共著 2件/うちオープンアクセス 2件）

1. 著者名 KYOUNG-JOO LEE AND YANG-JOONG YUN	4. 巻 8
2. 論文標題 Reconciling Resource-Based View and Competency-Based View of Start-Up Formation in Universities	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 IEEE Access	6. 最初と最後の頁 143274 - 143284
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1109/ACCESS.2020.3014213	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する

1. 著者名 Kyoung-Joo Lee, Yang-Joong Yun & Eun-Young Kim	4. 巻 31(11)
2. 論文標題 Political skills and career success of R&D personnel: a comparative mediation analysis between perceived supervisor support and perceived organisational support	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Technology Analysis & Strategic Management	6. 最初と最後の頁 1270-1282
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1080/09537325.2019.1605051	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する

〔学会発表〕 計0件

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

氏名 （ローマ字氏名） （研究者番号）	所属研究機関・部局・職 （機関番号）	備考
---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------